

114
A5218

軍人恩給法ニ依リ相續人タル適當ノ
扶助料可申受手續

故陸軍歩兵中尉高田永治相續人

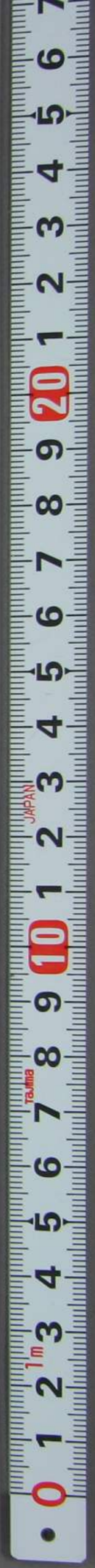
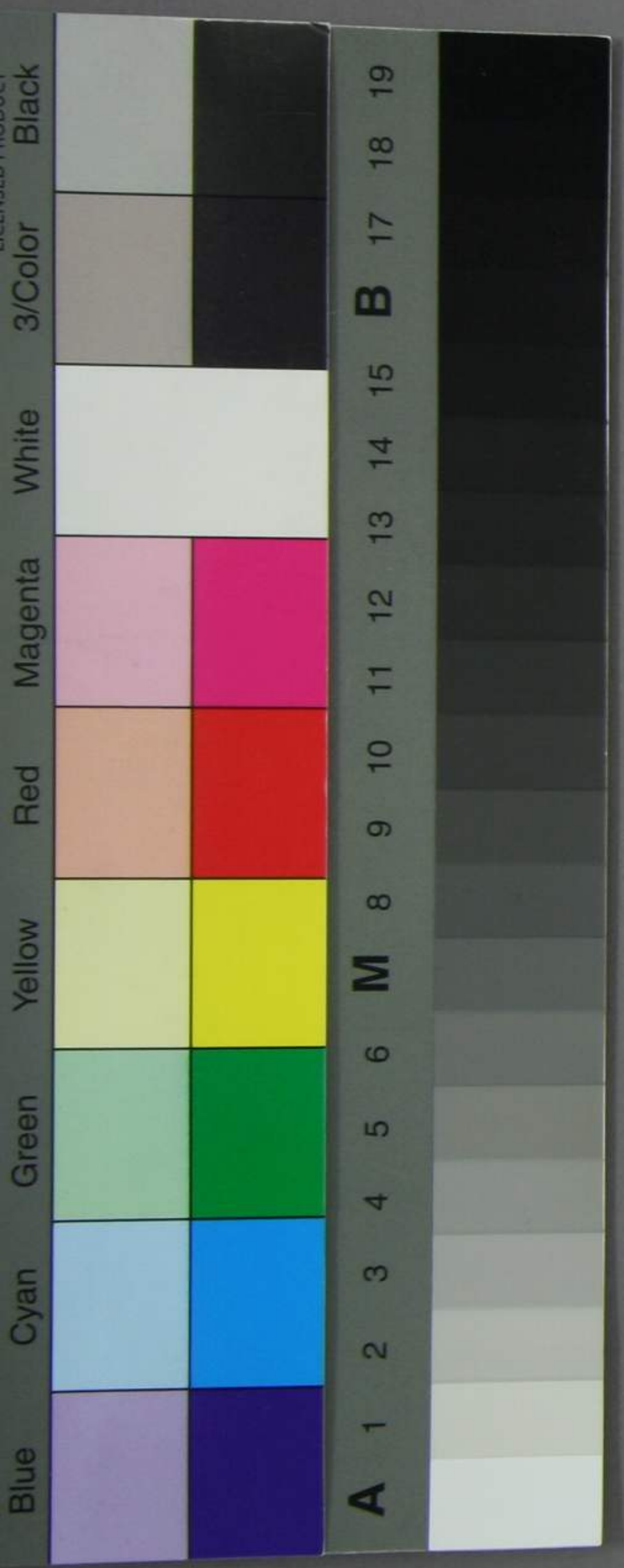
甲 給助金貳百貳拾五圓 高田陸郎 明治十九年九月生

右者別紙兵籍寫并戸籍證明書ヲ以テ明治二十九年九月給助金ヲ請求シ
別紙一号證之通相續人ノ名義ヲ以テ同年十月賜與セラル

故陸軍歩兵中尉高田永治弟

乙 一時扶助料金百五拾圓 高田陸郎

右者前記ノ通、兵籍寫并戸籍證明書ヲ以テ同年九月扶助料ヲ請求セシ別紙
二号證ノ通前件相續人トアルニ及シ弟ノ名義ヲ以テ本年五月賜與セラル



右兩件ト内閣御處分ニ甲乙其要点ヲ異シ軍人恩給法第三十六條ニ
「孤兒トハ年齢二十歳未滿ノ男女子ニシテ結婚セザル者ヲ云但養男女子ハ家名継襲者ニ
限ルト見ヘ現ニ孤兒タル陸郎ハ先代高田永治勤務中明治二十八年四月五日
相續人トシテ家名継襲ノ為メ入籍セシ相違無之候但兵籍ニ芽トシハ入籍
已前ノ實系ヲ表シタニ過キヌ又戸籍ニ明治二十八年四月五日云々入籍ト而ヒニ
相續人トシテ欠クミ右入籍ニ関シ永圖ヲ東京府知事侯爵久我通之ニ對スル
出願書ニ照ス時ハ相續人トシテ事實明瞭ニ有之又戸籍本文ニ同年十月十二日
相續トシテ高田中尉死亡儀電報通信而ヒテ戰地ヲ於新書送付遲緩ニ
及ヒ同年十月ニ至リ死セテ顯末ヲ居住地區長ニ報告セシ以テ遺跡相續
意ヲ以テ單ニ相續トシテ記入セシ過キスト思考ス
前記ノ如ク手續明瞭ナルヲ以テ事實御推究一時扶助料ノ御辭令返上被仰付

別紙三号證軍人恩給法第三十六條第三十七條ニ因リ滿二十歳迄年々相當
扶助料下賜候様御引直アラシテ執望ス但恩惠上ノ御處分ニ對シ
臣子ノ分ニ於テ敢テ裁判所ヲ煩ハスノ意無ク又出訴スルモ必有効トシテ思量シ難シ

右高田永治相續人高田陸郎實父
後見人 增子 永圖

○兵籍寫

東京府東京市牛込區牛込五軒町十一番地平民

故陸軍歩兵中尉 高田永治

明治三年十二月一日生

一弟 相續人 陸郎

明治十九年九月二十七日生
明治廿八年四月五日本籍届濟上入籍

右相違無之仍證明候也

明治二十九年七月廿三日

近衛師團長子爵佐久間左馬太□

○ 戸籍證明書

東京市牛込區牛込東五軒町十一番地

平民

前戸主養母高田八重

福島縣安達郡二本松町字鷹匠町士族増子永圖次男

亡養母八重

明治十九年三月二十三日相續

高田永治

明治二十八年四月二十四日死亡

明治三年十二月一日生

明治廿八年四月五日茨城県真壁郡下館町四百四番屋敷士族増子永圖六男入籍同年十月十二日相續

相續人

陸郎

明治十九年九月廿七日生

右之通相違無之候也

明治廿九年九月三日

東京市牛込區長佐伯惟馨

一 辨 訖

第四一七號

故陸軍歩兵中尉高田永治相續人

高田陸郎

給助金貳百貳拾五圓

右軍人恩給法ニ依リ之ヲ給ス

明治廿九年十月二十四日

内

閣

二号後

第五〇號

故陸軍歩兵中尉高田永治弟

高田陸郎

一時扶助料金百五十圓

右軍人恩給法ニ依リ之ヲ給ス

明治三十年五月十日

内

閣

三号後

明治二十三年六月法律第四十五號軍人恩給法

第三十六條

此法律ニ於テ孤兒トハ年齢二十歳未滿、男女子ニシテ未タ結婚セサル者ヲ云但養男女子ハ家名継襲者ニ限ル

第三十七條

扶助料ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル月、翌月ヨリ之ヲ給ス

第四十一條

恩給ノ支給ハ陸海軍大臣ノ證明ニ依リ恩給局ノ審査ヲ經テ内閣總理大臣之ヲ裁定ス

行政上ノ處分ニ依リ恩給ニ関スル權利ヲ障害セラレタル者ハ

六ヶ月以内ニ恩給局ニ具申シテ裁決ヲ請フコトヲ得其裁決ニ

服セサル者ハ一年以内ニ行政裁判所ニ出訴スルヲ得

